

## 学校給食センター運営検討委員会準備会 議事録

日 時：平成27年8月11日（火）19：30～21：40

場 所：多可町中央公民館 2階 中会議室

出席者：22名（別紙名簿参照）

欠席者： 3名

司会進行：事務局

1. 開会 19:30

2. あいさつ

岸原教育長

3. 自己紹介（名簿順）

4. 検討委員会設置要綱説明 （事務局）

要綱説明後、互選により委員長の選出を行う。

委員長：笹倉政之氏、副委員長：高見大介氏

5. 報告・協議事項 （要綱に基づき委員長が会議進行）

事務局よりセンターの現状と近隣市町の状況を説明する。

### 給食センターの調理部門の民間委託について出席者から意見聴取 20：15

委 員：多可町は他分野においても民間連携の姿勢で取り組んでいますが、民間委託をすることが決まっているのであれば、この会議は必要ないのではないですか。

事務局：子供が毎日食べる給食の調理を民間委託することについては、保護者の皆様には多くの不安や疑問があると思います。まず保護者から多くの意見を聞き、また理解を得て、不安を取り除いていきたいと思っています。

委 員：正職調理員2人と嘱託調理員15人となっていますが、職員定数を増やすことは可能なのですか。職員定数が決まっているのですか。

事務局：定数云々とかいうことではなく、町の方針として正職を増やす予定はありません。もちろん、コストがかかっても正職調理員を増やすことで安定した運営を目指す方がよいという意見もあります。また、それよりも民間と連携し、コストを抑えながら安定した運営をする方がよいという意見もあると思います。そのあたりをこのメンバーでご検討いただきたいと思います。

委 員：正職調理員と嘱託調理員の割合から働きにくい状況ではないかと思っています。同じ

仕事をしているのに給与に差があるため、嘱託調理員をうまく指導することが難しいのではないですか。民間に委託して同じ条件下で働くなら良いかもしれません。

また、民間委託しても調理以外の献立や材料調達は町で行うことは安心できてありがたいと思います。

委員：この検討委員会は、いつまでするのですか。何回ぐらい会議を開く予定ですか。

事務局：最終的には、検討委員会の意見をまとめて、答申として教育長に提出していただく迄となります。遅くとも年度末までには答申を出していただくこととなります。会議の回数は、説明、経過報告、まとめと最低でも3回は必要ですし、月1回は会議を開くとするなど回数は委員の皆様で決めていただいたらよいと思います。

委員：この委員会は、意思決定をする場ではないと確認されました。

事務局：民間委託をした場合は、現在の調理員は残らず、完全に委託業者の調理員となります。現場を熟知した調理員で作業の引き継ぎなどをスムーズにするためにも、委託業者募集の際には、現在の嘱託調理員を雇用することを条件の基本とします。

委員：民間企業で働いている自分の立場から、民間委託すると本当に調理が安定するのかなと言うとそうではないと思います。本当に大丈夫なのか保護者としては不安です。

委員：給食センターを統合した時には、この民間委託は計画されていたのですか。

事務局：当時計画はありませんでしたが、運営していく中で辞める調理員も多く、状況が変わってきました。

委員：経歴や給与などの差があるが、調理員によって負担の差などの問題はないのですか。

事務局：正職調理員が現場を統括しています。嘱託職員の中に4人の主任を配置し、4班集体で運営しています。主任には手当を支給しています。

委員：PTAは、各学校でどこまで検討していますか。

委員：各学校では、具体的な協議はしていません。

委員：嘱託調理員に知り合いがおり、意見を聞きました。新規採用しても技能に差があり、続かないことが多く、このまま採用を続けても改善は望めないのではないかと声を聞きました。民間委託した方が改善が望めるのではないかとのことでした。民間委託の目的は何ですか。

事務局：調理員が辞めていく状況で、安定した給食が提供できなくなります。委託することで人員確保が可能になり、安定して給食を提供できます。

事務局：品目が多い日は、特に人数が必要です。急な休みで人数が減ると、ギリギリの人数で調理を2時間で済ませて配送準備することがかなり厳しい状況となります。安定した給食が提供できなくなります。

委員：委託するかどうか方針を決めてからのほうが意見を言いやすいと思います。学校としてしっかりと給食の提供を望みます。

委員：民間委託をすればここがこうなるという明確な資料がほしいです。多分とかでなく、こうなりますという説明がほしいです。

委員：調理部門のみの委託となると民間業者が利益を出すためには、人件費を削減するしかないように思います。その場合、業務のクオリティを現状維持できるのですか。また、他市町も委託の方向であるようだが、全てそうになっていった場合、業者は人員確保が可能なのですか。

事務局：委託した場合の調理員数はこちらから指示をします。食数に対する調理員数は法で定められています。

事務局：調理規模（食数 2700）が似ている丹波市では調理員 3 4 人で調理しておられます。多可町は現在 1 7 人（食数 2200）で何とか調理をしております。この状況から委託後、民間で積算される人数は今より増えると思います。

委員：給食費は上がるのですか。

事務局：給食費は、給食の材料費のみを保護者の方に負担していただくものなので、今回の委託費用の影響はありません。給食費は変わりません。

委員：民間委託による業者のメリットがあまり見えてきません。当校の教頭が民間委託をしている地域からこちらへ転勤されていますが、あまりいいことは言っておられませんでした。

委員：多可町はアレルギー対応が充実しています。他市町では、卵しか対応していないところもあると聞きました。とても素晴らしいことだと思います。委託した場合は、この点も含め、栄養士が調理員に指示を出すことが今までより難しくなるのではないですか。

事務局：確かに大変になります。指示がより重要になり、栄養士の負担はふえると思います。

事務局：契約時に条件を付けていくことが重要だと考えます。業者の質を把握し、現状のアレルギー対応を維持していきたいと思います。

委員：正職調理員 2 人の負担がとても大きいです。とても危険な作業が多く、厳しい指導も必要ですが、そんななか作業を一通り覚えたところで辞めてしまう調理員が多いです。また、大量の材料を使うので重い荷物も多く、男性調理員がほしいところです。日によっては調理員の確保が難しいのが現状です。

委員：人員の確保が必要なら、正職調理員を増やすか民間委託するかしかないと思います。正職調理員を増やすのが難しいし、どんな人が来るか分からないのであれば、民間委託でプロの経験者に任すほうがよいのではないかと思います。ただ、指示が難しいという点は気になります。

委員：いろいろと意見が出ましたが、次回以降は民間委託をしていこうという姿勢で会議を進めてよろしいですか。

委員：内容を決めておいてほしいと思います。また今日と同じような話になってもいけないので、私は実は昨年まで丹波市に赴任していました。民営化になった結果、給食の質自体は何も変わりませんでした。民間委託になって、調理員の顔を見る機会が増えて、委員のおっしゃった教頭の話をもう少し具体的に聞きたいと思います。

委員：他市町の状況も含め、情報がほしいと思います。

#### 6. 閉会 21：40

委員会日程を協議し、閉会となった。